



申6号「2019大宮地本政策フォーラムの提言」に基づく申し入れ交渉開催!

【工務関係 その②】

〈1月24日交渉内容〉 ※議論内容は要旨

【藤保線技術センター分会・大宮保線技術センター分会】

1 2. 職場での小口現金における立替払いを解消するため、「仮払金方式」を導入すること。

組合：施策実施から半年、現場の小口現金は工務職場にとってまだまだ必要だ。施策の目的を貫徹するためにどのように解消するのか？

会社：業務用 Suica を配備して試使用期間を設け、1月から本使用としてきた。

組合：業務用 Suica は現金ではないが、チャージは小口現金扱いか？

会社：そうだ。

組合：電子マネーが使えないコインパーキングなど、現在も立替払いがある。懸念は施策交渉時も議論したが、金額が少ないから請求・清算しないとなること。以前、立替払いの清算として立替え者への銀行振り込みとなったが、入金確認は本人が通帳記帳しないと確認できない。それで良いのか？

会社：現在のところその手段しかない。問い合わせがあれば「いつ・いくら」はシステムで確認できる。

組合：通帳には「ヒガシホリヨキヤ(カ)」で入るが、本人が記帳しなければ確認できないのはどうなのか？システムもひとが操作する、間違いはある。給与でも例えば特勤手当がついてないなど給与明細で気づくことが多々ある。

会社：現状、それに代わる手段がない。

組合：現金取扱出納担当者を現場長が指定するとなっているが、現場長が現金管理するのはダメなのか？

会社：専門的に扱えるひとが必要になってくる。

組合：「仮払金方式」を採用している企業は多い。施策を実施する際、社内規定など抜本的な見直しも必要だ。規定内でやろうとすると苦しくなることもある。大胆さも必要では？

会社：言われていることは理解する。今施策は支社独自のものであり業務用 Suica も他支社とは違うやり方だ。時代に沿うようにするべきとも考えているのは事実だ。

組合：クレジットカードの導入は検討しているのか？

会社：今まさに働きかけている。課題もあるが検討している。

組合：小口現金、無くすのが本当に効率的なのか検証は継続して必要だ。職場の意見を聞きながらお願いしたい。

【宇都宮信号通信連合メンテナンスセンター分会】

1 3. 宇都宮信号通信 MC (在来) の広範囲な保守エリアを鑑み、職場の意見を基に業務用自動車の選定を行うこと。なお、設備職場における今後の業務用自動車の配備については商用車としないこと。

組合：宇都宮信通メセは担当エリアが広いので、業務用自動車を扱う機会が多い。リース期限を迎えて更新時期になると、どの車種にも変更可能と聞いているがそれで良いか？

会社：設備部企画課になるが、更新時期になるとリース会社より問い合わせがあり、現場と調整する。車種変更については特に問題はなく変更は可能だ。

組合：職場への要望要請が遅い。前段に予算を確定させていくと思うが、そのタイミングで要望を聞くことは出来ないのか？

会社：出来る。リースは建設費になるが時期になれば予算要求し通れば可能だ。

組合：職場ではディーゼル車を希望したが車種が限定されての選択肢だった。

会社：まだまだ現場のニーズに答えきれていないと感じる、改善していきたい。

施策検証を更に継続して課題を克服していこう!!